（西暦）2026年　11月　9日

# 水痘ワクチン株由来の帯状疱疹におけるORF62遺伝子多型と小児集中治療室における院内二次伝播疑い例の分子疫学的解析

研究責任者　所属　感染症内科　職名　科長
氏名　笠井　正志
連絡先電話番号　078-945-7300
実務責任者　所属　感染症内科　職名　医師
氏名　水野　真介
連絡先電話番号　078-945-7300

このたび当院では、入院患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。**本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、感染症内科　水野　真介までご連絡をお願いします。**

1　対象となる方

西暦２０２４年８月２９日から２０２４年９月２日までの間に当院集中治療室へ入院されていた、水痘ワクチン未接種または免疫不全状態のあった患者さんと、水痘・帯状疱疹を発症された患者さん。

2　研究課題名

水痘ワクチン株由来の帯状疱疹におけるORF62遺伝子多型と小児集中治療室における院内二次伝播疑い例の分子疫学的解析

3　研究実施機関

兵庫県立こども病院　感染症内科

4　本研究の意義、目的、方法

意義、目的

水痘ワクチンの定期接種化により日本国内の水痘の罹患数は著明に減少した。一方で、ワクチン株由来のウイルスによる水痘、帯状疱疹の報告がされている。一般的に弱毒化されている水痘ワクチン株による症状は野生株より軽症であることが多く、水痘ワクチン株による播種性帯状疱疹および二次伝播は稀である。ウイルスがワクチン株由来であるかは、ウイルス遺伝子のうち、ORF62に含まれる7塩基で判断する。ORF62遺伝子多型と発疹形成との関連が報告されているが、二次伝播のリスク、特に小児集中治療室におけるリスクは評価されていない。

今回、臨床・曝露経過、感染対策、発端患者のウイルスの分子学的所見を記述することで、その感染管理上の意義と遺伝子学的仮説を考察する。

方法

西暦２０２４年8月２９日から２０２４年9月２日までの間に当院集中治療室へ入院されていた、水痘ワクチン未接種または免疫不全状態のあった患者さんと、水痘・帯状疱疹を発症された患者さんを対象とする。

発症された患者さんについては年齢、基礎疾患、水痘ワクチン接種時期、病歴、水痘・帯状疱疹ウイルス検出方法、ウイルス遺伝子解析結果、治療、感染対策について、水痘ワクチン未接種または免疫不全状態のあった患者さんについては曝露後予防策と、二次伝播を疑う症例の発症日、治療、感染対策について、電子カルテを用いて調査する。

進捗について公表できる範囲で随時各学会報告、最終報告は学会、論文発表を予定する。

当院研究責任者　兵庫県立こども病院　感染症内科　笠井正志

〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町１丁目 6-7　078-945-7300 (代表)

5　協力をお願いする内容

対象患者の電子カルテを閲覧し、上記内容を調査する。

6　本研究の実施期間

倫理審査にて承認を得た日～２０２７年3月 31 日（予定）

7　プライバシーの保護について

1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報は年齢、基礎疾患のみです。その他の個人情報（氏名、住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。
3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。
4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切開示いたしません。

8　お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

兵庫県立こども病院感染症内科　実務責任者　水野　真介

〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町１丁目 6-7

TEL: 078-945-7300 (代表)

受付時間：　10:00～16:00 (土日祝日、年末年始は除く)

以上